

平成27年度 第8回教育研究評議会議事録

日 時 平成27年11月18日(水) 14:35～16:25
場 所 事務局棟5階大会議室
附属図書館浜松分館・学生支援棟3階会議室
出席者 伊東幸、石井、木村、東郷、前田、柳澤、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木、
今野、寺村、菅野、谷、酒井、藤井、塩尻、加藤、佐古、中山、糠谷、
鳥山、渡邊、中村、三村、朴、澤田の各評議員
陪席者 鈴木、櫻本の各監事
阿部、青木、浅利の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成27年度第7回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学個人情報保護ポリシーの制定について

議長から、静岡大学個人情報保護ポリシーの制定について、資料1により提案があり、続いて、前田委員から、先般発生した日本年金機構における年金個人情報の大量流失事案や「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(番号法)の施行等を踏まえた同ポリシーの制定に係る経緯等について説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学個人情報管理規則の一部改正について

議長から、「独立行政法人等の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する指針」の改正及び番号法の施行に伴う静岡大学個人情報管理規則の一部改正について提案があり、前田委員から、改正内容について、資料2により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、改正後の同規則第11条第1項第2号に定める「副学長のうち学長が指名した者 1人」について、柳澤副学長(人事・リスク管理・特命事項担当)を指名したい旨の発言があり、本会議上で同人の同意を得た。

<審議において確認された主な事項>

- ・菅野委員から、役員における同規則の規定遵守について質問があり、前田委員から、役員においては規則上の縛りはないものの、当然規定を遵守すべきとの理解である旨の説明があった。
- ・櫻本監事から、同規則第20条に定める「不要となった場合」の基準について質問があり、前田委員から、情報や媒体ごとに国立大学法人静岡大学法人文書管理規則で定めている旨の説明があった。

3 静岡大学情報公開・個人情報保護委員会規則の一部改正について

議長から、番号法の施行に伴う静岡大学情報公開・個人情報保護委員会規則の一部改正について提案があり、前田委員から、資料3により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、改正後の同規則第3条第1項第2号に定める「副学長のうちから学長が指名した者 1人」について、柳澤副学長（人事・リスク管理・特命事項担当）を指名したい旨の発言があり、本会議上で同人の同意を得た。

4 マレーシアプトラ大学（マレーシア）との大学間交流協定の締結について

議長から、マレーシアプトラ大学との大学間交流協定の締結について提案があり、鈴木委員から、相手方機関の概要等について、資料4により説明があった後、審議の結果、承認した。[申請書中「責任部局の長」の記載は別途確認]

なお、加藤委員から、大学間協定とする基準について、異なる2つ以上の部局が関わるかが条件であるかとの質問があり、鈴木委員から、質問と相違ない旨、また、部局間協定とすることも可能ではあるが、協定をより重要なものと位置付けるため、同様の条件であれば、大学間協定とすることを勧めている旨の説明があった。

また、加藤委員から、総合科学技術研究科の各専攻について、従前どおり部局としての取扱いとなるかとの質問があり、鈴木委員から、質問と相違ない旨の説明があった。

5 ブタペスト工科経済大学（ハンガリー）との大学間交流協定の更新について

議長から、ブタペスト工科経済大学との大学間交流協定の更新について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 ネブラスカ大学オマハ校（アメリカ合衆国）との大学間交流協定にかかる覚書の更新について

議長から、ネブラスカ大学オマハ校との大学間交流協定にかかる覚書の更新について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 学長選考会議委員の選出について

議長から、本会議からの学長選考会議委員の選出方法について、本件を検討するため本会議の下に設置したWGによる検討案の提示があり、糠谷委員（検討WG座長）から、本件審議に至る経緯及びWGにおける検討概要について、資料7により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、糠谷委員から、前回本会議において加藤委員より質問のあった選考会議の構成における副学長の取扱いについて、副学長については、法人

化当初から選考会議の構成から除外対象となっていなかったこと、また、国立大学法人法により、その対象とされることとされ、副学長を除外した場合は同法に抵触することとなる旨の説明があった。

8 平成28年度非常勤講師所要時間数について

議長から、平成28年度の非常勤講師所要時間数について提案があり、石井委員から、全学教務委員会における審議状況や各部局の所要時間数の設定に係る説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、全学教務委員会における議論の中では、「各部局における所要時間数の配分については、3年の経過期間を経て、各部局の学生数に応じた配分とすべき」との意見や「教員免許法や部局における教育の性質上の関係で、科目のバラエティのあることは致し方ない」との意見があったことから、平成29年度以降における非常勤講師所要時間数については、今後、全学教務委員会にWGを置き、各部局における所要時間数について、合理性のある設定値の検討を行った上で、配分時間数を精査することとしたい、また、その際に、各部局に配分する非常勤予算の部局裁量化についても併せて検討したい旨の説明があった。

＜審議において出された主な意見＞

- ・今野委員から、「何を持って合理性があるとするかについては、判断が難しいものがある。各学部や学科において、これまで培ってきた教育体制もあるので、検討の際には、その点を考慮していただきたい」旨の意見があった。
- ・菅野委員から、「今後、専任教員が減ることとなる教育学部では、その一部を非常勤講師で補填している事情も考慮していただきたい」旨の意見があり、石井委員から、「来年4月の教員人事を踏まえて未補充となっている部分について、各部局において緊急的に必要な非常勤講師枠の要望を募っており、WGにおいて精査することとなる」旨の説明があった。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、平成27年度第8回企画戦略会議（H27.11.4開催）について、資料9により報告があった。

2 就業規則の一部改正について

前田委員から、番号法の施行に伴う就業規則の一部改正について、資料10により報告があった。

なお、議長から、本件は、11月27日に開催する第6回経営協議会での審議を経て、同日開催の役員会において、審議・承認する予定であり、その前段階として、本会議に提示した旨の補足説明があった。

3 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について

伊東暁委員から、平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料11により報告があった。

4 平成27年度年度計画の進捗状況について

伊東暁委員から、平成27年度年度計画の進捗状況について、資料12により報告があり、計画の達成に向けた協力要請があった。

なお、議長から、今回提示した資料は年度計画の進捗状況であるが、本年度は第2期中期目標期間の最終年度でもあるため、中期計画の進捗状況についても改めて精査したい旨の発言があった。

5 マイナンバーの収集について

柳澤委員から、マイナンバーの収集に係るスケジュール及び収集に係る対応方法について、資料13により報告があった。

6 平成28年度行事予定表について

石井委員から、前回本会議において提示した際に、議長から提案があった5月の連休期間中における授業開講日の調整の可否について、全学教務委員会において審議した結果、委員から調整が困難である旨の意見が多数あり、前回本会議に提示した当初案を委員会として改めて決定した旨、資料14により報告があった。

なお、議長から、平成29年度における授業等の設定については、学生に便宜が図れるよう早めに検討する必要がある旨の付言があった。

7 平成27年秋の叙勲について

議長から、平成27年秋の叙勲について、本学名誉教授である小島英夫氏が瑞宝中綬章を受章された旨、資料15により報告があった。

8 静岡大学における防衛省等との研究協力に関するガイドラインについて

木村委員から、9月の本会議において審議・承認された静岡大学における防衛省等との研究協力に関するガイドラインについて、9月の本会議の翌日に開催された役員会において審議・承認され、同ガイドラインを役員会決定事項とした旨、資料16により報告があった。

9 学生の事故について

菅野委員から、教育学部で発生した学生の事故に係る経緯及び今後の対策等について、報告があった。

10 教員採用等報告について

議長から、学術院工学領域3名及び融合・グローバル領域1名の教員の採用等について、資料17により報告があった。

IV その他

1 大学改革シンポジウム「企業が求める人材像について考える」の開催について

鈴木委員から、11月30日に開催される大学改革シンポジウム「企業が求める人材像について考える」の開催について、資料18により案内があった。

2 人事院勧告を踏まえた給与改定の取扱いについて

前田委員から、本年8月に示された人事院勧告について、現段階で閣議決定がなされておらず、そのために国会における審議もされていない状況であり、かつ、年内は臨時国会も召集しない方針が出されている旨、状況説明があった。

3 「テクノフェスタin浜松」及び「キャンパスフェスタin静岡」について

中山委員（川田テクノフェスタin浜松実行委員長代理）から、11月7日及び8日に開催された「テクノフェスタin浜松」、谷委員（キャンパスフェスタin静岡実行委員長）から、11月14日及び15日に開催された「キャンパスフェスタin静岡」について、資料19により報告があった。

以 上